

第4期

運用報告書(全体版)

分配金ステップアップ型 円建て債券ファンド2012-12 (愛称 ドレミファンド2012-12)

【2014年12月22日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「分配金ステップアップ型円建て債券ファンド2012-12（愛称 ドレミファンド2012-12）」は、2014年12月22日に第4期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00~17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／国内／債券
信託期間	2012年12月21日から2017年12月22日までです。
運用方針	主として、取得時において、A格相当以上のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。投資対象とするユーロ円建て債券は、海外の金融機関が円建てで発行するものとし、市況環境を踏まえて設定日に1銘柄を選定し投資を行います。
主要投資対象	取得時において、A格相当以上のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	年2回、6月22日および12月22日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

○設定以来の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			受 益 者 利 回 り	債 組 入 比	券 率	元 残 存 本 率
		税 込 分	配 金	期 騰 落 中 額				
(設定日) 2012年12月21日	円 10,000		円 —	円 —	% —	% —	% 100.0	
1期(2013年6月24日)	9,377		13	△610	△6.1	△12.0	98.7	
2期(2013年12月24日)	9,715		13	351	3.7	△2.6	98.7	
3期(2014年6月23日)	9,759		18	62	0.6	△1.3	98.7	
4期(2014年12月22日)	9,769		18	28	0.3	△0.8	98.6	

- (注) 1. 基準価額および分配金(税込み)は1万口当たり、設定日の基準価額は、1万口当たりの当初設定元本額です。
 2. 基準価額の期中騰落額と期中騰落率、および受益者利回りは、分配金(税込み)込みです。
 3. 受益者利回りは、設定来の年率換算利回りです。
 4. 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比	券 率
(期 首) 2014年6月23日	円 9,759	% —	% 98.7	% 98.7
6月末	9,760	0.0	98.6	98.6
7月末	9,736	△0.2	98.6	98.6
8月末	9,736	△0.2	98.6	98.6
9月末	9,711	△0.5	98.5	98.5
10月末	9,721	△0.4	98.5	98.5
11月末	9,756	△0.0	98.5	98.5
(期 末) 2014年12月22日	9,787	0.3	98.6	98.6

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

<p>ファンドの信託報酬率</p>	<p>毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.2484%（税抜0.23%） うち委託会社 年率0.2160%（税抜0.20%） うち受託会社 年率0.0324%（税抜0.03%） ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して1.05%（税抜1.00%） うち販売会社 1.05%（税抜1.00%） ※設定日における消費税率は5%です。</p>											
<p>目標分配額 （1万口当たり、税引前）</p>	<p>計算期間</p>	<p>目標分配額 （1万口当たり、税引前）</p>										
	<p>1年目（第1期、第2期）</p>	<p>年26円（各期13円）</p>										
	<p>2年目（第3期、第4期）</p>	<p>年36円（各期18円）</p>										
	<p>3年目（第5期、第6期）</p>	<p>年46円（各期23円）</p>										
	<p>4年目（第7期、第8期）</p>	<p>年56円（各期28円）</p>										
	<p>5年目（第9期、第10期）</p>	<p>年66円（各期33円）</p>										
	<p>※第10期の目標分配額は、満期償還価額に含まれます。 ※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。</p>											
<p>ユーロ円建て債券の発行体</p>	<p>モルガン・スタンレー ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。</p>	<table border="1"> <tr> <th>発行体格付</th> <th>設定日</th> <th>当期末</th> </tr> <tr> <td>スタンダード・アンド・プアーズ</td> <td>A-</td> <td>A-</td> </tr> <tr> <td>ムーディーズ</td> <td>Baa1</td> <td>Baa2</td> </tr> </table>	発行体格付	設定日	当期末	スタンダード・アンド・プアーズ	A-	A-	ムーディーズ	Baa1	Baa2	
発行体格付	設定日	当期末										
スタンダード・アンド・プアーズ	A-	A-										
ムーディーズ	Baa1	Baa2										

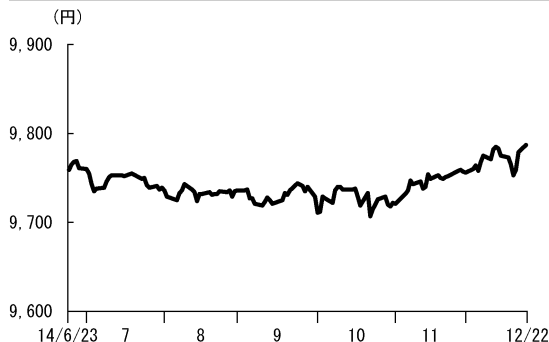
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

◎基準価額の推移

基準価額は、前期末の9,759円から当期末には9,769円（分配金落後）となりました。なお、当期末に18円（税込み）の分配金をお支払いしましたので、分配金を含めると28円の値上がりとなりました。

基準価額の推移



（注）基準価額は1万口当たり、期末の基準価額は分配金（税込み）込みです。

◎基準価額の変動要因

（主なプラス要因）

- ・国内金利が低下したことがプラスに寄与しました。
- ・当ファンドが組入れているユーロ円建て債券の価格は、発行体であるモルガン・スタンレーの信用スプレッド（国債に対する利回り格差）が小幅拡大しましたが、債券保有期間に応じた収益が着実に積み上がったことが、プラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・特にありません。

◎投資環境（市況）

（債券市場）

原油等の資源価格の下落により、世界的に物価上昇圧力が弱まったことや、日銀が追加金融緩和を決定し、国債需給の逼迫感が強く意識されたことから、債券利回りは低下基調を強めました。

（クレジット市場）

モルガン・スタンレーの信用スプレッドは、米国や欧州連合によるロシアに対する経済制裁の強化が打ち出されるなど、地政学的リスクの高まりから拡大しました。その後、欧米株価が堅調に推移し、一旦縮小しました。しかし、期末にかけては、原油価格の大幅下落を受けた金融市場の動揺から、リスク回避の動きが強まり、信用スプレッドは再度拡大しました。

◎ポートフォリオについて

当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日に買い付けた、1年毎に利金額が増加する仕組みを持つ、モルガン・スタンレー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。

◎分配金

当期の収益分配金は、目標分配額どおり1万口当たり18円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

◎今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年6月24日～2014年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.127	(a) 信託報酬=計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.111)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(-)	(-)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	13	0.132	
期中の平均基準価額は、9,736円です。			

- (注) 1. 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 2. 各金額において基準価額は円未満切り捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 3. 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年6月24日～2014年12月22日)

○ 売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	普通社債券 (含む投資法人債券)	千円 -	千円 53,259

- (注) 1. 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)
 2. 単位未満は切り捨てです。
 3. 普通社債券 (含む投資法人債券) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年6月24日～2014年12月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2014年12月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
普通社債券 (含む投資法人債券)	745,071 (745,071)	726,147 (726,147)	98.6 (98.6)	— (—)	— (—)	98.6 (98.6)	— (—)	
合 計	745,071 (745,071)	726,147 (726,147)	98.6 (98.6)	— (—)	— (—)	98.6 (98.6)	— (—)	

- (注) 1. 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。
 2. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。
 3. BB格以下組入比率は、S & PとMoody'sの信用格付けのうち、高い方を採用しています。
 4. 一印は組み入れがありません。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
MORGAN STANLEY 20171218	0.758725	745,071	726,147	2017/12/18
小 計		745,071	726,147	
合 計		745,071	726,147	

- (注) 1. 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。
 2. 利率は、普通社債券(含む投資法人債券)の利払日において変動します。

○投資信託財産の構成

(2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 726,147	% 98.3
コール・ローン等、その他	12,495	1.7
投資信託財産総額	738,642	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	738,642,937
コール・ローン等	12,343,704
公社債(評価額)	726,147,161
未収利息	92,925
その他未収収益	59,147
(B) 負債	2,332,320
未払収益分配金	1,356,732
未払信託報酬	933,527
その他未払費用	42,061
(C) 純資産総額(A-B)	736,310,617
元本	753,740,000
次期繰越損益金	△ 17,429,383
(D) 受益権総口数	753,740,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,769円

- (注) 1. 運用報告書作成時点では、監査未了です。
 2. 計算期間末における1口当たり純資産額は0.9769円です。
 3. 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は17,429,383円です。
 4. 当ファンドの設定元本額は895,740,000円、期首元本額は809,240,000円、期末における元本残存率は84.1%です。

○損益の状況 (2014年6月24日～2014年12月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,605,178
受取利息	2,546,031
その他収益金	59,147
(B) 有価証券売買損益	△ 1,601,963
売買損	△ 1,601,963
(C) 有価証券評価差損益	1,793,455
(D) 信託報酬等	△ 1,010,791
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	1,785,879
(F) 前期繰越損益金	△ 19,471,430
(G) 解約差損益金	1,612,900
(H) 計(E+F+G)	△ 16,072,651
(I) 収益分配金	△ 1,356,732
次期繰越損益金(H+I)	△ 17,429,383

- (注) 1. 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
 2. 収益分配金
 計算期間末における当ファンドの配当等収益額(2,605,178円)から経費(1,010,791円)を控除した額(1,594,387円)に、期末の受益権口数(753,740,000口)を乗じて期中の平均受益権口数(780,811,428口)で除することにより分配可能額は(1,539,108円)(10,000口当たり20円)であり、うち1,356,732円(10,000口当たり18円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	18円
支払開始日	2014年12月29日(月)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

〈約款変更のお知らせ〉

法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2014年12月1日)